

なべしま新聞



発行者 鍋島一博



★六羽の雛が打ちそろって親鳥を待っている姿です。下の写真は、雛の一羽が巣立つ瞬間です。



ツバメがどこからやって来るのか知らなかった私の家に、三年前初めてツバメのつがいが巣を作り始めました。親鳥は四羽の雛を巣立たせ、どこかへ旅立つて行きました。一昨年、昨年と、ツバメは、何度もあいさつには来るのだけれど、巣作りはしませんでした。今年も駄目だろうかと思っていたところ、四月中旬に何度か下見にきました。五月初旬、私たち家族の願いが通じて巣に入りました。一羽が巣に入ると、もう一羽が電線に止まって見守ります。初めは卵があるのかないのか分からない状態でした。

母の日、早朝、鳥たちのけたたましい鳴き声に目を覚ましました。ツバメの巣を見ると、別の鳥が襲っているようでした。つがいは必死に他の鳥を追い払おうと応戦しています。何とか撃退しました。その後も何度か他の鳥やカラスが襲来して来ましたが、カラスを追い払った時は感動的でした。親鳥二羽が高速で飛びながら、自分の何倍もあるカラスに突撃するのです。雛を守るため何度も繰り返し向かっていく姿を見ながら、わが子を思う親の気持ちは、鳥も人間と一緒になのだと思ってきました。

五月下旬、待望の雛が孵ったのです。すぐさまカラスが襲ってきましたが、またもや親鳥が撃退しました。それから数日すると、もう雛の頭が巣から見えるようになったのです。親鳥は、華麗な急旋回を見せながら何度も餌を運んで来ます。その数は一日五百回にも及ぶそうです。雛は黄色い嘴で餌をねだります。ねだる鳴き声もとても可愛いのです。こんなに親鳥と雛が必死に言葉を交わす姿を見て、私たち人間の親と子は、もっと真剣に会話する必要があるのではないかと思ってきました。

六月に入ると、成長した雛たちが巣一杯に並び、親鳥が運ぶ餌を待っています。親鳥の羽ばたきが聞こえると、六羽が一斉に黄色い嘴を精一杯広げます。親鳥は順番に餌を口に入れてやっています。格が色々あるのだなあ、と納得した次第です。成長した若鳥の巣立ちも、なかなかユーモラスでした。ツバメは幸福の使者だそうです。安全な家にしか来ないとも言われます。本当かどうかは別にして、巣を作りに来てくれたことは、とてもありがたいことです。

来年も、また、やって来てくれることを家族全員で祈っています。



★雛が巣にぎっしりと並び親鳥を待つ姿は、なかなかユーモラスに映ります。餌が運ばれると黄色い嘴を一杯開いて鳴く姿が見られます。



まさき耳鼻科医院 ↑
伊東市宇佐美1936-29
TEL <0557> 48-1187
院長・医学博士 正木義男 先生

四月のある朝、目覚めた瞬間、右耳に違和感を覚えました。耳の奥が重苦しいのです。なぜか幼い頃の記憶がよみがえって来ました。私は小学生の頃まで、よく中耳炎になりましたので、もしかしたら... と思ったわけです。

私が小学生だった昭和三十年代、湯河原に耳鼻科は一軒しかありませんでした。しかも健康保険での診療をしてくれませんでした。一度で何千円も掛かりました。貧しい格好で行くと安くしてくれるとの噂でした。母は、私が病院へ行く前に着古したボロボロの服に着替えさせ、千円札を二・三枚持たせて囁んで含めるように言ったものです。

「うちは貧乏なので、お金はこれしかありません、と言うのよ。」

この先生は名医と評判でしたので、患者が増えないよう健康保険を使えないようにしていたとのことですが、真偽のほどはわかりません。

こんなことを思い出し、久しぶりの痛みに耐え、すぐに伊東市宇佐美の『まさき耳鼻科医院』へ行きました。翌朝、娘の大学入学式で京都まで行かなければならなかったので、応急処置をしておこうと軽い気持ちでした。診察結果は、やはり中耳炎、その場で鼓膜を切った膿を出してもらいました。正木先生のおかげで、娘の晴れ姿を見ることができました。完治するまで一カ月ほど通いましたが、正木先生は、一人ひとりの患者さんを大切に、懇切丁寧に接してくれました。優しくて暖かい、本当に良いお医者さんだと感じました。



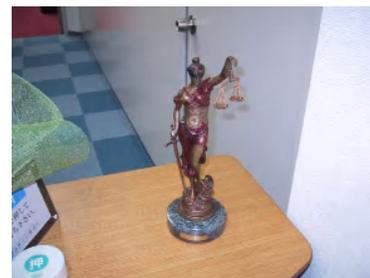
↑患者さん待合の様子・・・光を採り入れた、明るい色合いの待合です。

↓メディオ薬局宇佐美店・・・薬剤師の方からのアドバイスがうれしい！



★テーミンスのロンズ像 甲冑を身にまとい、左手の天秤を高く掲げ、右手には鋭い剣を携えて、神々しい美しさを放つ女神・・・

テミンスの名で知られるこの女神はギリシャ神話に登場する「法の正義の女神」です。テーミンスは天空神ウラノスと大地女神ガイアの娘。デルフイの信託所に住し、神のお告げは正義の基準であり、いるいるなもめいどが彼女の神託によつて審判されていきました。つまり彼女の言葉はその



まま生活の秩序法だったのです。このことから次第に彼女自身が、法の女神として信仰を集める女子になっていったと言われます。女神の左手に掲げる天秤は事の善悪を量る「裁きの天秤」右手には善と悪を切り分ける剣が握られています。平和な世界の秩序を築き立てて人々の願いが、このテーミンス像には込められているのです。この女神像は、**福身税理士事務所** 所様の受付を、見守っています。